

事例発表

地域とともに歩む学校づくり 南部町コミュニティ・スクール



発表者	南部町教育委員会総務・学校教育課	課長 水嶋 志都子
	南部町教育委員会協働活動統括推進員	田丸 睦悌
	南部町法勝寺中学校区学校運営協議会	会長 原 和正
講評	山口県美祢市立大嶺小学校	校長 相田 康弘

校区	南部中学校区				
学校名	会見小学校	南部中学校		会見第二小学校	
児童生徒数	166人	84人		17人	
学校教育目標	夢や希望をもち、仲間と共に努力する会見の子	人権尊重の精神と確かな学力を有し、明朗快活で心身ともに健康な生徒を育成する		夢や目標に向かって、一人一人が自己発揮し、切磋琢磨する子どもを育てる	
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えを持ち、自ら伝え合える子ども ●人・自分・地域に関心を持ち、大切にしている子ども ●進んで挑戦し、粘り強く取り組む子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標を持ち、自分で判断し、行動できる生徒 ●失敗を恐れず、粘り強く挑戦できる生徒 ●学習、奉仕活動、部活動に自主的に取り組める生徒 ●自分や人の良さを理解し、人と関わりあえる生徒 ●地域と関わり、学び、ふるさとに思いを寄せる生徒 		<ul style="list-style-type: none"> ●向上心を持ち、進んで学ぶ子ども(自律) ●違いを認め、お互いを大切にする子ども(共生) ●失敗を恐れず、最後までやりぬく子ども(自律) 	
協議会	南部中学校区学校運営協議会			会見第二小学校運営協議会	
CS委員会	会見小CS委員会	南部中CS委員会		会見第二小学校運営協議会	
部会と主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ○経験や知識・特技を生かした学習支援 ○セカンドスクール等児童のチャレンジを応援 ○登下校・校外活動の見守り ○交通安全教室 ○読み聞かせ・図書館整備等 ○祖父母・ジゲと先生の会(GTA) ○畑作り・昔遊び ○芝刈り、除草作業、環境整備等 	学習支援	まち未来科(先輩に学ぶ、まち未来体験、伝統芸能、まち未来会議等)への協力・支援	健全育成	人権教育参観日 健康教育参観日
		地域交流	防災訓練、あいさつ運動、下校指導、学校行事交流等の企画・協力		
		環境整備	花だん作り、除草作業、環境美化作業等の協力・支援		
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆「自律」と「共生」に向けて児童と学校の活動を応援する ◆南部中学校区学校運営協議会のグランドデザインをもとに、中学校区で連携して児童に系統的な力を育成し、児童の成長を応援する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「自律」と「共生」に進む生徒と学校の活動を保護者と一緒に応援する ◆小中一貫教育のグランドデザインを支え、小学校CSと連携して、児童・生徒の活動を応援する 		<ul style="list-style-type: none"> ◆「自律」と「共生」をめざす児童と学校の活動を応援する ◆小中一貫教育のグランドデザインを支え、中学校区CSと連携して、児童の活動を応援する 	

校区	法勝寺中学校区			
学校名	西伯小学校		法勝寺中学校	
児童生徒数	301人		169人	
学校教育目標	ふるさとに誇りを持ち、創造と協働に富み、たくましく生きる児童の育成		知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成	
めざす子ども像	「自分大好き・みんな大好き・南部大好き西伯の子」 ●めあてをもち、進んで学ぶ子ども ●心豊かな、思いやりのある子ども ●気力に満ち、最後までがんばりぬく子ども		「夢を抱き、人と調和しながら主体的に行動できる生徒」 ●自分の可能性を信じてひたむきに努力し、進路を自己決定できる生徒 ●他者と関わりあいながら何事にも意欲的に挑戦し、社会に貢献する生徒	
協議会	法勝寺中学校区学校運営協議会			
CS委員会	西伯小CS委員会		法勝寺中CS委員会	
部会と主な活動	はたらく	リサイクル活動、掃除サポート	夢実現支援	家庭学習習慣づくり
	どくしょ	朝の読み聞かせ図書館支援		
	あいさつ	あいさつ運動	自律支援	地区運動会への生徒参加・ふれあいウォーク 一式飾りの指導・校区外ボランティア
	学習支援	各学年の学習支援		
活動目標	地域全体で子どもたちの豊かな学びと育ちを実現～そして、郷土を、ふるさとを愛する心を育てる～		三者がねらいを共有した活動を通して、より一層の連携を深化させる～学校・地域・家庭が協働する体制の確立と活動方針の浸透～	

「まち未来科」で身につけてほしい4つの力

ふるさと あいちやくりよく 愛着力

じぶん まわ ひと ちいき あい
自分、周りの人、地域を愛し、
ほこ ちから
誇れる力



ちいき ひと
地域の人・もの・
けっよくてき
ことに積極的に
かが
関わりましょう。

しょうらい せつ けいりよく 将来設計力

じぶん ゆめ もくりょう も
自分の夢、目標を持ち、それに
む じりつ とく ちから
向かって自立して取り組む力



じぶん ちから
自分の力でできることを
ふ
増やしていきましょう。

しゃかいさんかくりよく 社会参画力

ちいき しゃかい せいかつ よ
地域、社会、生活をより良くし
ていこうと未来を創っていく力



がっこう かてい せいかつ
学校や家庭の生活が
よ
より良くなるよう工夫
しましょう。

にんげんかんけいちょうせいりよく 人間関係調整力

あいて きも たちば しかい たいわ たが よ み
相手の気持ちや立場を理解しながら対話し、お互いの良さを見つけたり、
さまざま いけん お あ ちから
様々な意見に折り合いをつけたりする力



ともだち き あ つた あ がくしゅう せいかつ
友達と聴き合い、伝え合って、学習したり、生活したりしましょう。

「まち未来科」各学年の目標

「まち未来科」の目標

- 文化や自然、人のあたたかさにつれ、ふるさとに誇りをもつ心情や態度を培う。
- 南部町の今に学び、未来の南部町を創っていくこうとする心情や態度を養う。
- 自らの将来に夢や希望をもち、自律して生きていくために必要な能力や態度を身につける。
- 相手の気持ちや立場を理解しながら、対話し、お互いの良さを見つけたり、様々な意見に折り合いをつけたりできる。

学年	つきたいカ テーマ	ふるさと愛着力	将来設計力	社会参画力	人間関係調整力
中3	まち未来会議	これまでの学習から、町のよさと課題をまとめ、分析することができる。	自分と町の未来を思い描き、自分の生き方や町との関わりを考えることができる。	地域の方と協力しながらこれからの地域づくりに貢献しようという意欲を持つことができる。	様々な世代の方と思いを伝え合い、異なる考えを認め合いながら、対話を進めることができる。
中2	じぶん未来探求② [しごとと未来体験]	・自然、文化、産業などを体験し、よさや課題に気づくことができる。 ・ふるさとに貢献する意味を考えることができる。	・将来に向けてどのような力が必要なのかを考え、自分の生活に生かすことができる。	・基本的マナーやルールの大切さに気づき、自分の役割や責任を果たすことができる。	・進んで解決に取り組み、友達や地域の方と協働して自分の責任を果たすことができる。
中1	じぶん未来探求① [先輩に学ぶ]	・地域の方の職業観や生き方を話し、働くことの目的や意義を学ぶことができる。	・自分のよさや適性を知り、将来の夢や目標、仕事について考えることができる。	・社会人として必要な資質を考え、自分の生活に生かすことができる。	・目的意識を持って相手に質問したり、自分の思いを述べていくことができる。
小6	人権の町づくり	・「人権のまちづくり」の取り組みや現状について理解することができる。	・差別解消における取り組みから、自分の生き方をふり返ったり、将来の生き方を考えたりすることができる。	・課題を持ち、他者と協働しながら差別解消に向け、考え、行動することができる。	・よりよい課題解決ができるように、自分たちで話し合いを進め、考えを伝え合うことができる。
小5	伝統文化・産業	・町の伝統文化、産業の現状やよさを知り、興味・関心を持つことができる。	・伝統文化、産業を受け継ぐ人々の思いや生き方を知り、自分の生活や将来への生き方を考えることができる。	・伝統文化、産業を受け継いだり、広めたりする方法を自分たちで調べ、考え、行動することができる。	・地域の伝統行事に参加するなど、様々な世代の方と積極的に交流することができる。
小4	自然環境	・自然環境のすばらしさや多様性、つながりに気づくことができる。 ・自然環境を守ろうとする意識を高めることができる。	・里山として自然環境を守っている人の思いや生き方に触れ、自然環境保全の大切さを理解することができる。	・自然との共存に向け、一人一人が何をしたいといかないのか、友達や地域の方に呼びかけることができる。	・町の自然を守り、里山を生きる方法を地域の方と協働して考え、発信することができる。
小3	地域の宝 人・もの・こと	・地域の方の工夫や思いを理解し、特産物に関する興味関心を広げることができる。	・体験や聞き取りを通して地域の方の思いや考えを知り、ものづくりのすばらしさを理解することができる。	・特産物についての取り組みや課題を知り、自分にできることはないか考え、発信することができる。	・地域の方との関わりから仕事の喜びや苦労を知るとともに、自分の考えを表現し、伝えることができる。
小2	まちのすてきはっけん	・町の自然や人々のよさを理解することができる。	・自分たちの身の回りにには様々な仕事があることを知り、それぞれの仕事よさに気づき視野を広げることができる。	・町のよさをまとめる中で、興味・関心をより高め、様々な人に伝えることができる。	・様々な世代の方と積極的に関わりを持つことができる。
小1	しぜんとあそぶ	・自然への関心を高め、自然のすばらしさに気づくことができる。	・地域の人・もの・ことと関わることを通して、なりたい自分をイメージすることができる。	・自然体験を通して、自然に親しみを持ち、自然や生き物に対してのかかわりを大切にすることができる。	・友達と遊んだり、生活を楽しくしたりする活動を通して、協力して活動する大切さを理解することができる。
年長	であいとかわり	・地域の自然物やことから[地域の人・もの・こと]を選びに取り入れ、積極的に関わるようになる。	・簡単なルールを守り、役割をもって友達や異年齢児と関わることを楽しむようになる。	・多様な人・もの・ことと関わって遊ぶ中で、つながりを深めるようになる。	・共通の目標に向かって活動する中で、相手の気持ちを大切にしたり、自分の気持ちを伝えたりするようになる。
		ふるさと愛着力	将来設計力	社会参画力	人間関係調整力

なぜ「まち未来科」だったのか

コミュニティ・スクールは「地方創生」に果たす教育の役割と同一基軸
→ 住民主体のまちづくり

コミュニティ・スクール充実・発展のために・・・
地域とともに歩む学校づくりのために・・・



「まち未来科」の創設

「まち未来科」とは、まちに学ぶ、南部町独自の学び
『ふるさとに学び、ふるさとを守り、ふるさととともにあり続ける子ども』を育てたい

平成18～23：すべての学校を指定

- ◆コミュニティ・スクールを基盤に地域とともに子どもたちを育てるしくみづくりが必要である
→ 地域と協働する町独自のカリキュラムの開発に挑戦
- ◆カリキュラムのスタートは教育委員会主導の事業として、最終的には学校の自立をめざす

停滞する「まち未来科」

平成26：最初は「まち科」

- ◆「まち科」専門の職員配置
- ◆実態把握と小中一貫教育の視点をもつことの確認ができた
- ◆校長の理解や協力が無い → 教職員に伝わらない・学校運営協議会との連携が図れない

平成27：仕切り直して「まち未来科」

- ◆「まち未来科」専門の職員ではなく、コミュニティ・スクール専門の職員配置
 - ・・・学校運営協議会との連携を期待
 - しかし、なかなか導入意図が学校運営協議会に浸透しない
- ◆「まち未来科」プロジェクト会議の立ち上げ
 - ・・・学校と地域がより明確に学びの方向性を共有できることを期待
 - ・・・育みたい力、学年ごとの目標とテーマが明確になった
 - しかし、なかなか授業や学校運営協議会に浸透しない

動き始めた「まち未来科」

平成28・29：「まち未来科」試行

- ◆指導主事の積極的コーディネートとバックアップ
 - ・・・授業の質の向上にむかう
- ◆しごと☆未来体験（職場体験）、まち未来会議のプロジェクトチーム発足
 - メンバーは、教職員、地域住民（学校運営協議会委員、地域コーディネーター等）、教育委員会
 - ・・・中学校への重点支援により、より地域をまきこむ
 - ・・・中3の姿のイメージ化 → 学校と地域での共有をめざす

平成30～：「まち未来科」本格実施へ

- ◆どのように取り組めば「まち未来科」になるのか？ これは「まち未来科」といえるのか？
 - ・・・学校から、こんな声があがり始めた
- ◆ポイントは校長の理解、課題意識

令和2～：コロナ禍による活動制限

令和3～：協働活動統括推進員の配置

- ◆学校と地域が協働する「まち未来科」
- ◆中学校区の視点の強化による系統表の再点検

令和5～：リスタート

- ◆「まち未来科」をコミュニティ・スクールのカリキュラムへ

- 1 学校教育目標の焦点化と明確化**
課題とキーワード（ねらい）の共有
教育活動の見直し
- 2 教職員の意識改革**
校務分掌・校内研究への位置づけ
会長、委員との交流
- 3 子どもを核にした地域とのつながり**
保小中連携、地域貢献活動
フィードバック

- 1 組織と学校の位置関係
- 2 ねらいと活動との整合性
- 3 外部組織との連携・拡大

南部町のCSの導入(指定)時期と組織概要

(H18~H30)

県下初

(生徒数は導入(指定)時点)

	南部中学校区						法勝寺中学校区			
学校名	会見小学校		南部中学校		会見第二小学校		西伯小学校		法勝寺中学校	
導入(指定)年月日	H18.4.1		H21.9.1		H28.3.1		H21.4.1		H23.12.1	
児童生徒数	201		109		10		419		222	
委員数	15名		11名		7名		13名		15名	
部会	読書活動部	安全活動部	学習支援部	環境整備部	学習支援部	健全育成部	学習支援部	どくしょ部	学習支援部	生活支援部
	交流活動部	GTA	地域交流部		環境備部		あいさつ部	はたらく部	交流支援部	

(H31~)

(生徒数はR5.4.1時点)

	南部中学校区学校運営協議会				会見第二小学校学校運営協議会		法勝寺中学校区学校運営協議会			
導入年月日	R3.4.1				H31.4.1		H31.4.1			
委員数	10名				17名		12名			
	会見小CS委員会		南部中CS委員会				西伯小CS委員会		法勝寺中CS委員会	
児童生徒数	165		86		17		301		169	
CS委員数	12名		13名				11名		11名	
部会	なし		学習支援部	生活環境部	学習支援部	健全育成部	学習支援部	どくしょ部	「志」支援部	「関わり」支援部
			地域交流部				あいさつ部	はたらく部	「主体性」支援部	

○成果「その前に・・・」

- ・子供たちに何を期待するか！

⇒ふるさとに学び、ふるさとを愛し、ふるさととともにあり

続ける⇒その為には⇒地域で良い思い出を作る

「まち未来科」のめざす
子ども像と同じ

第3期 地域づくり計画書 (資料編)

期間：令和2年度～令和6年度
発行：東西町地域振興協議会
鳥取県西伯郡南部町東町62番地
協力：鳥取大学地域学部

竹川研究室・東根研究室
令和2年(2020年)3月31日現在

～転出者調査結果・小学生調査結果から～

- ・消極的転出者が約5割
- ・Uターン意向をもつ転出者が約5割

例えば・・・

静岡県(2017)「若年層の県外転出者に対する意識調査」3割弱
岐阜県(2010)「若者の県外流出抑制に向けた意識調査」2割強

- ・現在も東西町のお祭りなどに参加している転出者が約2割

- ・転出者の状況、小学生への聞き取りからも、地域で子どもを育む取組みが、東西町への愛着を高め、Uターン意向の高さにつながっていることが予測できる。

地区行事に小・中・高校生の出番を作る



バザーを自分達で運営する小学生



一緒に焼きそばを作る高校生

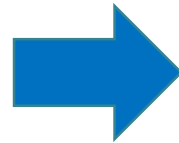


一緒にカレーを作る中学生



夏祭りの屋台を運営する高校生

地区のリサイクル活動がCSの事業に発展（H20～）



回収文書
西伯小学校コミュニティ・スクール
西伯小学校 PTA: 共催事業

今回は 6月27日(日)! 子どもたちと共に働く
西伯小学校リサイクル活動

子どもたちに「ふれあう楽しさ」「はたらく喜び」を伝えよう!

日時	平成22年6月27日(日) 午前9時00分～10時30分ごろまで	
回収場所	上長田地区	上長田会館(旧上長田公民館)
	東長田地区	青年の家
	法勝寺地区	南部町公民館さいはく分館
	大国地区	大国田園スクエア 南部町公民館さいはく分館
	天津地区	ふるさと交流センター
東西町地区	東西町コミュニティセンター	
回収物	新聞紙(広告) 雑誌 ダンボール	
	アルミ缶(東西町地区のみ)	
お願い	・午前9時30分までに各地区の回収場所にだしてください。 ・西伯小学校PTA地域活動部の皆さんの指示があれば、それに従い協力してください。 ・子どもたちが整理します。持ちやすい大きさにひもで	



収益は学校の教育設備や子供たちの教育活動に充てています

○成果

地域の子を地域全体で育てる意識の醸成

小学生

大人の方

帰省した大学生

高校生



地域の夏休み
なんぶっ子塾

法勝寺中学校区CS便り

R5年度第1号



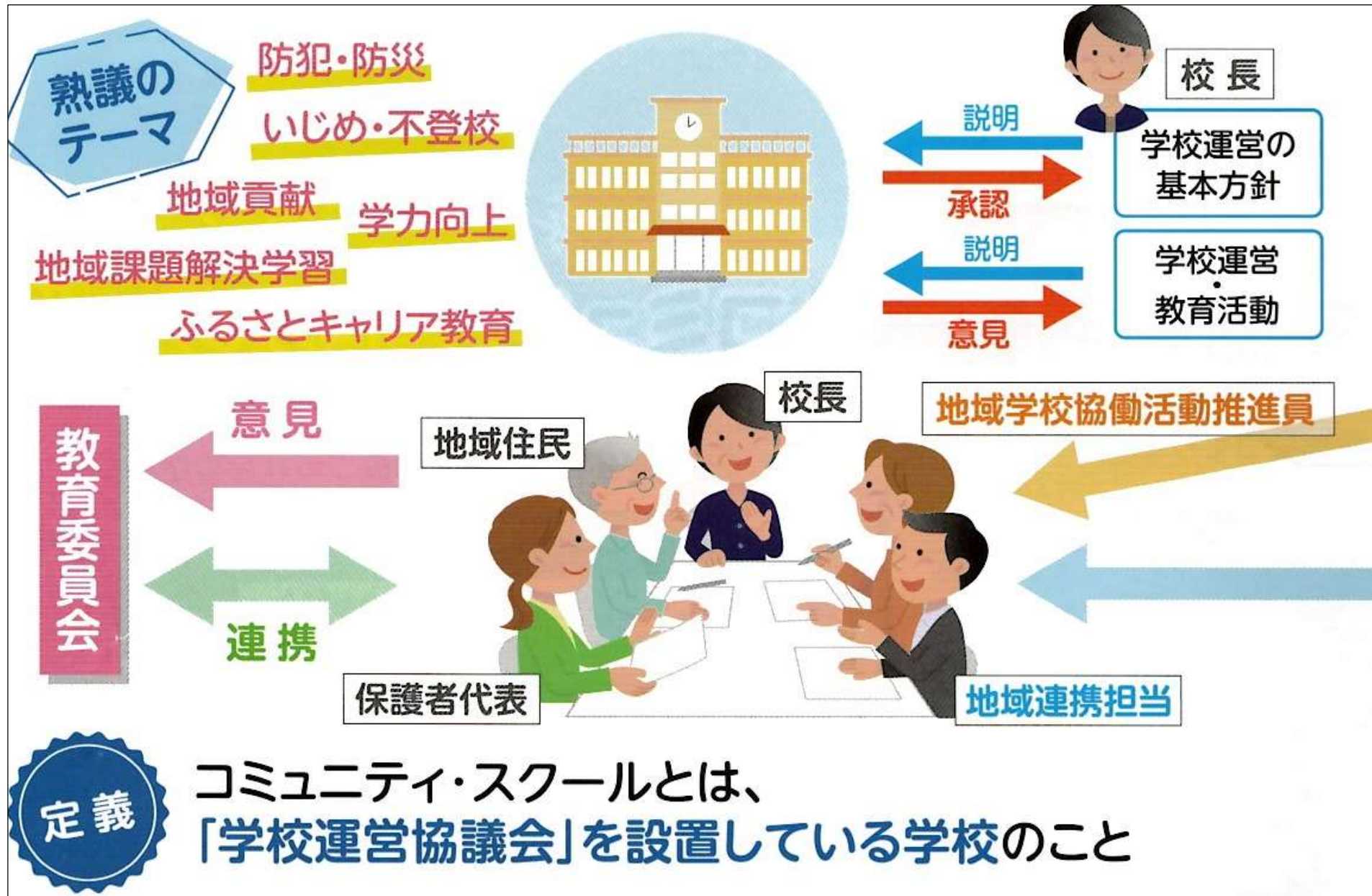
西伯小学校



法勝寺中学校

法勝寺中学校区コミュニティ・スクール(CS)

コミュニティ・スクールとは??



◎学習支援活動

「5・6年生」

ミシンサポートです(10月に8日間)



家庭科学習の一つとして、ミシンソーイングです。
5, 6年生の授業の一環です

地域の伝統文化「一式飾り」が完成

法勝寺中

2022/11/3



新型コロナウイルス感染防止のため、3年振りになりました。地域の方に教わりながら完成！法勝寺地区の常設展示場に飾ってあります。

南部町コミュニティ・スクールの課題

管理職やCS担当の意識が重要





まちの未来を子どもたちとともに！

地域の力を子どもに！学校に！